

平成29年度事業報告

1. 基本方針

日本包装学会の目的は、学会会則にあるように、包装にかかわる各種材料、加工、機械、システム、製品、検査、流通、デザイン、心理、環境、社会等の科学及び技術の進展をはかり、もって学術文化の向上と産業の発展に寄与することにあります。

平成29年度は、これまでの活動実績を踏まえ、「包装学の深化と体系化、社会の要請に応える開かれた学会づくり、包装分野を担う次世代人材の育成」に力を注いできました。包装学の深化と体系化に向けた編集委員会の取り組みとして、日本包装学会誌に「総説」を継続的に掲載するためのシリーズ化を進めました。また、平成28年度に新たな研究会として発足した「若手の会」の活動を通じて、交流の場と機会を通じた次世代人材育成にも努めました。加えて、ホームページの情報更新を適時に行うことで、学会活動に理解を深めていただくなど、学会の活性化につなげることができました。

平成29年度は大会を東京で開催し、参加登録者数274名、口頭発表32件、ポスター発表24件、あわせて、第12回国際包装セミナーを開催し大きな成功を収めました。さらに、シンポジウムの開催、学会誌の刊行(6冊)の他、学会ホームページ充実による情報発信機能の強化も引き続き行ってまいりました。

2. 学会運営の経過

2-1. 通常総会

- ・ 日時:平成29年7月12日(水) 9:30～
- ・ 場所:東京大学 弥生講堂
- ・ 議決権: 35、委任状数 163、有効議決件数 198

2-2. 理事会

- ・ 第80回:平成29年6月7日 東京海洋大学 越中島会館
- ・ 第81回:平成29年7月12日 東京大学農学部 弥生講堂会議室
- ・ 第82回:平成30年2月27日 東京海洋大学 越中島会館

2-3. 会長補佐会議

- ・ 第89回:平成29年4月19日 東京海洋大学 越中島会館
- ・ 第90回:平成29年11月28日 東京海洋大学 越中島会館
- ・ 第91回:平成30年1月 メール開催

3. 各委員会の活動

3-1. 編集委員会

委員会開催

- ・ 第159回 平成29年 5月19日 八重洲倶楽部
- ・ 第160回 平成29年 7月21日 八重洲倶楽部
- ・ 第161回 平成29年 9月11日 八重洲倶楽部
- ・ 第162回 平成29年11月13日 サッポロビール静岡工場、レンゴー清水工場
- ・ 第163回 平成30年 1月11日 八重洲倶楽部
- ・ 第164回 平成30年 3月 9日 八重洲倶楽部

学術雑誌「日本包装学会誌」の発刊

- ・ 第26巻第2号(平成29年 4月号)
- ・ 第26巻第3号(平成29年 6月号)
- ・ 第26巻第4号(平成29年 8月号)
- ・ 第26巻第5号(平成29年10月号)
- ・ 第26巻第6号(平成29年12月号)
- ・ 第27巻第1号(平成30年 2月号)

3-2. 企画委員会

シンポジウムを以下の通り3回開催した。

- ・ 平成29年6月30日 第73回「包装における副資材の役割と機能(5題)」
- ・ 平成29年11月2日 第74回「近年の医薬品包装分野における課題」ー偽薬対策の実際とチャイルドレジスタンス包装開発動向ー(5題)
- ・ 平成30年2月28日 第75回「高機能パッケージが担う社会課題の解決と利便性の向上(5題)」

各シンポジウムの準備およびその状況に関する確認と委員間の意思統一を図るため、企画委員会を4回開催した(第120～123回) 平成29年6月1日、10月28日、12月7日(+交流会)、および平成30年2月1日(平成30年度向け)

3-3. 研究委員会

4つの研究会(バリア材料、輸送包装、包装とIoT、若手の会)が活動しており、それぞれの活動状況は次のとおりである。

- ・ バリア材料研究会:第23回バリア材料研究会『食品殺菌技術とバリア材料』を平成30年2月19日に北とぴあにて開催した。東洋食品工業短期大学 朝賀昌志先生「包装容器詰食品の保存と品質を考えた殺菌技術」、(株)日阪製作所 御船和徳先生「殺菌装置と実用例」、(株)クラレ 林七歩才先生「食品殺菌技術とバリア包装材料」の3講演を実施。トータル参加者数46名での研究会となり、活発なディスカッションが行われた。
- ・ 輸送包装研究会:輸送包装ディスカッションを9月22日に京セラD. S. (大阪、玉造駅)にて開催した。
- ・ 包装とIOT研究会:研究会を平成29年5月29日、東京海洋大学にて開催し、①講演(東京海洋大学 渡部大輔先生「包装とIOT 現状と今後」(30分))、②参加者のフリーディスカッション(企業、大学のニーズ・シーズマッチング、研究会活動について)③有志懇親会 を実施した。
包装とIOT研究会の今後の活動計画を策定した。
- ・ 若手の会:若手会員の日本包装学会誌への論文投稿を促進するために、平成29年7月11-12日に開催される第26回年次大会(東京大学)の期間中に第2回交流イベントとして解説講演「論文投稿のすすめ」を開催した。

3-4. 大会運営委員会

日本包装学会第26回年次大会を、平成29年7月11日と12日の2日間にわたって東京大学 弥生講堂 一条ホール、セイホクギャラリーにて開催した。参加登録者数274名、口頭発表32件、ポスター発表24件、更に、第12回国際包装セミナー(IPS'17)を薬品包装のグローバルトレンドとして、Mr.Guru Prasad MohantaMr.takahiro Iwazu、Mr.Steven Roelandts 招聘し講演・パネルディスカッションを行っていただき、盛況のうちに大会を終えることができた。参加各位からの貴重なご意見・ご要望を踏まえ、第27回年次大会も有意義な大会とすべく準備を進めている。

- ・ 第199回 平成29年4月11日 東京海洋大学
- ・ 第200回 平成29年6月13日 東京海洋大学
- ・

第26回年次大会

- ・ 会期:平成29年7月11日、12日
- ・ 会場:東京大学 農学部 弥生講堂他
- ・ 参加登録者数:274名
- ・ 発表数:56件(口頭32件、ポスター24件)
- ・ 第12回国際包装セミナー(IPS'17):海外講師(2名)、国内講師(1名)
- ・ 第201回 平成29年9月12日 東京海洋大学

(以降 第27回年次大会準備)

- 第202回 平成29年10月10日 東京海洋大学
- 第203回 平成29年11月7日 東京海洋大学
- 第204回 平成29年12月12日 東京海洋大学
- 第205回 平成30年1月17日 東京海洋大学
- 第206回 平成30年2月13日 東京海洋大学
- 第207回 平成30年3月13日 東京海洋大学

3-5. 広報委員会

インターネット関連

- 学会主催催事(シンポジウム・年次大会・研究会)の開催案内と参加受付をHPにて行うとともに員にメールを発信し、告知した。
- 下記の事項についてHPの公開、もしくは公開内容の改訂を実施した。
 - 随時:協賛・後援している催事
 - 学会誌の発行時:最新号の目次
 - 年次大会終了後:維持会員リスト、過去の受賞者リスト、事業報告、事業計画
 - 年末:学会表彰授賞者募集案内
 - 年度の切り替わり時期:学会誌掲載後1年以上経過した論文
- 「会長のご挨拶」ページのレイアウトとリンクの一部を修正した。

学会紹介パンフレットの更新

- 現状に即した内容とするため、日本語版、英語版のパンフレットの内容を更新した。

3-6. 国際交流委員会

IPS'17 について「Global Trends in Pharmaceutical Packaging」を年次大会時に開催した。下記の通り海外から2名、国内から1名の講師を招聘し、講演及びパネルディスカッションを行った。

- Prof. Guru Prasad Mohanta 「Packaging Requirements of Medicines for Distribution: Indian Perspective」
- Mr. Takahiro Iwazu 「Child Resistant & Senior Friendly Pharmaceutical Packaging and Preventing Counterfeit Drugs - Understanding Global Trends and Regulations」
- Mr. Steven Roelandts 「Secure Your Brand - Prevention of Counterfeit」

「海外情報」の学会誌掲載

- 海外の研究者から学会誌への投稿推進

3-7. 学会賞等選考委員会

平成29年7月12日東京大学農学部弥生講堂において、平成28年度日本包装学会功労賞授賞式を行った。

平成30年3月30日に八重洲倶楽部において、学会賞等選考委員会を開催した。

- ・ 奨励賞の被推薦者(1名)について厳正に審査し、下記の方を授賞候補者として決定した。

細山 亮 氏 (地独)大阪産業技術研究所

業績名称:包装貨物振動試験の精度向上に関する研究

- ・ 投稿論文(対象論文7件)について厳正に審査し、下記の論文を授賞候補者として決定した。

堀口 翔伍 氏 (地独)大阪産業技術研究所

川口 和晃 氏 神栄テストマシナリー

論文タイトル:1試料による疲労影響を考慮した製品衝撃強さ試験方法の提案

- ・ 日本包装学会功労賞の授賞選考を行い、下記の方を授賞候補者として決定した。

沖 慶雄 氏

木村 一夫 氏

久保田 清 氏

野田 治郎 氏

前原 隆 氏

溝口 敬信 氏

3-8. 財務委員会

平成29年度決算及び平成30年度予算の作成。毎月の財務状況確認。

3-9. 総務委員会

総会、理事会、会長補佐会議の事務局として学会活動を運営した(詳細 学会運営の経過参照)。

以上のとおり、報告致します。

椎名 武夫	(会長)
永井 一清	(副会長)
伊藤 健一	(副会長)
牧野 義雄	(編集委員長)
北澤 裕明	(企画委員長)
中嶋 隆勝	(研究委員長)
山田 敏雄	(大会運営委員長)
天野 勉	(広報委員長)
宮田 剣	(国際交流委員長)
竹村 彰夫	(学会賞等選考委員長)
東山 哲	(財務委員長)
牧 伸行	(総務委員長)
白倉 昌	(監事)
広瀬 和彦	(監事)